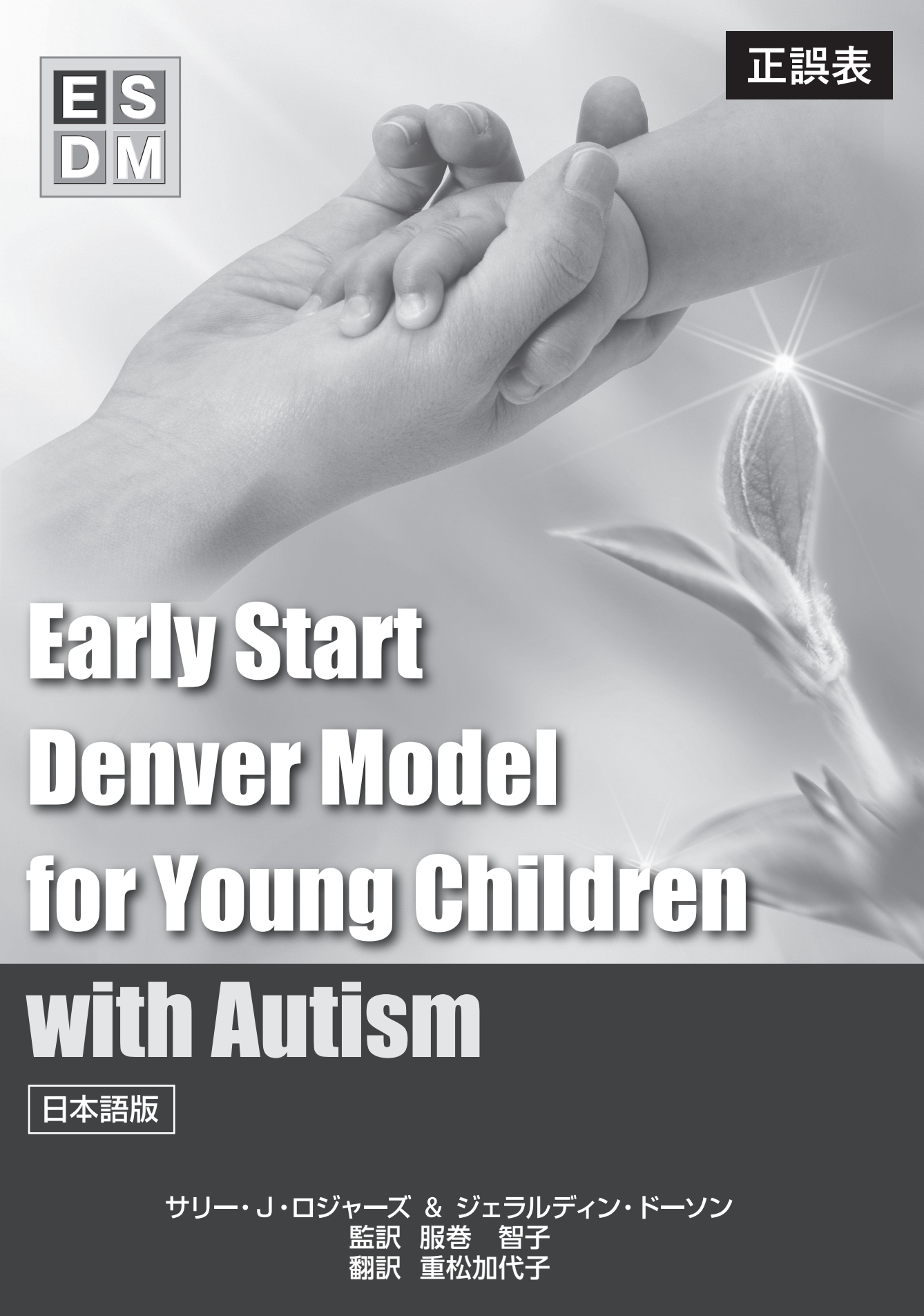




正誤表



Early Start Denver Model for Young Children with Autism

日本語版

サリー・J・ロジャーズ & ジェラルディン・ドーソン
監訳 服巻 智子
翻訳 重松加代子

ESDMマニュアル日本語 正誤表

ページ	行	修正前	修正後
第1章			
2	4	複数の原理に基づく	複数の職種からなる
3	9	長所	特徴
4	14	交流している時	周りの世界と交流している時
	15	分散された意味	分散の特徴
	16	典型的な言語発達を遂げるはない	典型的な言語発達を遂げることはない
	18	あるいは	すなわち
	29	典型的な言葉の認識を発達させる人による 交流的な	典型的な言葉の認識を発達させるには、人との 交流的な
	32	向かうべきなのだ	取り組むべきなのだ
6	3	相貌認知によって特に賦活される	相貌認知に特化している
	9-10	普通ではそうとらえられない刺激が意味のある ものであるとしたら	普通とは違った刺激に価値が付与されるとし たら
7	2-3	反応しているか、そして、彼らの反応に応じて また自分の行動を調節しているか、というこ とを常にモニターしている	反応しているかをモニターし、彼らの反応に 応じて自分の行動を調節している
	14	社会脳の別の部位	社会脳の各部位
8	5	背の一部	背側の一部
	8	慣れの	慣れによる
第2章			
10	12	目標と達成する方法	目標を達成する方法
	16	補助的なアプローチ	補完的なアプローチ
	18	(自閉症における対人関係の発達モデル、 1991)	、ロジャーズとベニングトンの自閉症における 対人関係のモデル(1991)
11	3	当初、自閉症は	自閉症は主として
	16	集団指導において	小グループ指導において
13	8	自閉症の行動発達の進むべき道筋	自閉症のある子供の行動面での発達の道筋
	9-10	知覚を下で支える神経システムと、社会的言 語的情報の表現の発達及び体系化	対人、言語情報の知覚と表現を下で支える 神経システムの発達及び体系化
	13	突出部	サリエンス(訳者注:認知において際立って 強い入力信号)
	24	結びつける	散りばめる
	26-27	子供が教材の使い方を理解しているか確認 し、子供と意思の疎通を図ること	教材や交流のコントロールを子供と共に行う こと
	29	維持の上達	維持の向上
14	15	それは、対人スキル、	それは受容コミュニケーション、表出コミュニ ケーション、共同注意、模倣、対人スキル、
15	3	注意深く見いだされ設定される	注意深く設定される
	8	コミュニケーションは	コミュニケーションが

ページ	行	修正前	修正後
16	7	全概念発達	前概念発達
	11-12	増大辞（大きさに関する名詞）や代替コミュニケーション	拡大代替コミュニケーション
17	13	鑑定され	定義され
	18	入っていく	注意を向ける
18	31	獲得の容易でない	容易には消失しない
19	2	強みやタイミング、また、強化の頻度は	強化の強さやタイミングや頻度は
	30	その人に合う目標は何か	その人にとってそれはどのような目標を満たすものなのか
20	14	不連続施工法や大人の直接指導場面だけよりも	大人主導の集中指導場面よりも
	27	般化をよく般化し	般化を向上し、
21	24	意思の疎通がコントロールできる	意思の疎通のコントロールを両者で行う
	28	他の結果	その他の先行事象
	29	結果	先行事象
22	6	2000年	2002年
	17	無気力だったり、	無気力で低覚醒であったり
	25	要求や	ニーズや
	25	子供を遠ざけることなく	子供を過覚醒にすることなく
23	25	やりとりを助けていくことによって	やりとりを織り交ぜることによって
	29	適切な長さで	適切な言語で
25	17	神経活動を回復させる	神経活動を動員する（訳者注：広く使うこと）
	20	急激な神経ネットワークの増加	神経ネットワークをより複雑にする
	23	パートナー同士には	パートナー同士に
26	5	もっとも年少の子自閉症児たちでも	年少の自閉症児の大半も
	21	彼らを発育するのと少なくとも	少なくとも
	29	スキルでも頻繁に行われる	スキルであることが多い
	30	意図的及び適切な	標準的で適切な
28	6	アタッチメント（愛着）の安心の中で変動性を見せており	アタッチメントの安心に関してはばらつきが見られ
	14	育児コミュニケーション	親のコミュニケーション
	15	定型発達の子供達にそうするのと同様に	定型発達の子供たちにおいてそうであるのと同様に
	19	割合	速度
	32	相互交流の数は	相互交流の数と内容は
	32-33	減り、親が子供のきっかけに～	減り、子供が学習する機会が減り、親が子供のきっかけに～
29	9-10	8編の論文が発表された。つまり論文審査のある専門誌で出版された	8編の論文が論文審査のある専門誌で発表されたり、現在印刷中である
	11	着実に進んだ	加速した

ページ	行	修正前	修正後
	13	子供と大人の割合を2:1にして	子供と大人の割合を1:2にして（重松：これは原文のミスなのでしょうか？ならば日本語訳は正解）
30	6	最小限の直接介入指導が与えられているならば	最小限の直接介入指導であることを考えると
	10	トレーニングの内容と進歩	トレーニングの内容とプロセス
	35	19. 1点であった	19. 1点の改善であった
32	2-3	否定型広汎性発達障害	非定型広汎性発達障害
	5	これと同じ例はふたり	ESDM群ではこれと同じ例はふたり
	18	発見に時間がかからなかった	少ない介入時間で達成された
33	1-2	ハーネンセンタープログラム（Cpi;ter Ga;;agher,2001）	ハネンセンタープログラム（Coulter & Gallagher, 2001）
34	13	ESDMの実用化	ESDMをどのように実施するか
第3章			
35	4	自然な指導手法	自然な指導手順（重松：これに関しては他の場所でスルーしている部分もあるので正誤表から外しても良いかもしれません）
	5	幼児教室（訳者注：児童保育に近い）	プリスクール（同上）
	10	デンバー、コロラド	コロラド州デンバー
	17	実施できる介入者によって	実施で、スーパーバイズを受けている介入者によって
36	14-15	埋め尽くされている	の中に埋め込まれている
	28	大雑把な方法として	目安として
	28-29	mean-end-actions	目的と手段が同じである動作
37	12	どんな人でも	どんな専門分野の人でも
	21	個別の指導経験	個別取り出しの指導経験
	25-26	二者関係dyadicの使い方、遊びに基盤をおいた活動	二者間（dydactic）の、遊びに基盤を置いた活動の使い方
38	24	課題分析の指導	指導課題の分析
39	4-5	置いておく。もし介入がセンターで行われる～	置かれる。もし介入を家庭で親が中心となっ て行う場合は、ノートは家に置く。もし介入が センターで行われる～
	9	世話と専門的技術の倫理について	養育の倫理的側面と職業上の倫理について
	10	家族メンバーと情緒的に関係のとれた専門 の	家族間のダイナミクスについて専門知識の ある
	12	倫理の標準を修復し	倫理の標準についての振り返りを行い
	22	結婚を考えるようになることもあるかもしれ ない	夫婦間のいざこざに巻き込まれることもある かもしれない
	28	両親のメンタルヘルス、子供の虐待	両親のメンタルヘルス、子育ての適切さ、子 供の虐待
	28-29	適正と責任	責任
40	31-32	余計な仕事を避けるために専門のスタッフは 最大限の子供をケアすることが認められる	専門スタッフは余計な仕事を避けながら、最 大限の子供をケアすることが可能となる
41	5	困難である。	困難である（Plaisted, 2001）。

ページ	行	修正前	修正後
	25	幼い子供達と早期介入者は	幼い子供達と関わる早期介入者は
42	16	介入の場合でさえ	介入の場合以上に
	19-20	その概念は必須のものであり、家族に焦点を当てることの必要性については～	その概念は必須のものであり、家族に焦点を当てることは乳幼児に対する介入の成功の基本である (Shonkoff & Phillips, 2000)。家族に焦点を当てることの必要性については～
43	図	Figure 3.1	Figure 3.1 多職種チームの構成
	5	それぞれの対象者の発達課題分析を行い	それぞれの目標に対して発達課題分析を行い
	14	単一のセラピー	単一の職種によるセラピー
44	18	個別化においてクラスルームの	個別化、クラスルームの
	21-22	全ての発達領域をトレーニングするという点において	すべての発達領域のトレーニングを受けているという点において
	32	どのようにESDMを実施するかを指導し	親に対しどのようにESDMを実施するかを指導し
45	6-7	進行中と行動とメンタルヘルスの問題をモニタリングし	行動とメンタルヘルスの問題を継続してモニタリングし
	10	アセスメントで管理する責任がある	アセスメントを実施する責任がある
	31-32	2者択一のコミュニケーションシステム	代替コミュニケーションシステム
47	6	合わせたアプローチ	調整されたアプローチ
	18-19	効果的なデーターを評価する	効果に関するデータを評価する
	23-24	現在進行中のデーターの集積を	継続的なデータの集積と
48	1	てんかんなどである。痛みが～	てんかんなどである。これらの状態は介入プログラムの成功に有意な影響を与える。痛みが～
	9	ASDについて十分説明し	ASDについて理解し、
	26	専門的な境界	専門家としての境界
50	9	ルール	役割
	31	多数の子供達と家族をケアしなければならないため	一定数の子供達と家族をケアしているので
	32	再検討する	再検討する事を可能にしている
51	1-3	集団指導を受けている子供達のために、複数の子供が同時に異なるチームによって再検討されることも許されている	集団指導を受けている子供については、このやり方で複数の子供を同時に異なるチームによって再検討することも可能となる。
	4	もっと柔軟に時間を設けられるのは、特定の子供について電話会議を行う場合であり、	もっと柔軟に割り振られている場合には、特定の子供について電話会議を行うことは
	8-9	更新するのを確実にする	確実に最新情報を得る
	25	スキルセットを経験のある	スキルセットを習得するために経験のある
52	8-9	しばしば起こってくる家族の問題について、この種の取り組みの中で学ぶ必要がある	この取り組みの中でしばしば起こってくる家族の問題について学ぶ必要がある
53	2	段階的に強化子の固有性を下げるもしくは移すことができない	体系的に強化子のレベルを下げたり内因性の強化子に移すことができない
	3	スキルを習得することに	習得済みのスキルに

ページ	行	修正前	修正後
	6-7	依存し、プロンプトが先行条件と間違われている	依存したり、プロンプトと先行事象の混同がある
54	3	年長の	もっとも上級の
	16	週間かかる。	週間かかる。(注：読み教材とビデオ教材を含めたトレーニングのシラバスはコピー代金と郵送料を負担していただければ著者から提供できる)
55	8	希望の減退や流れ、また悲観、	希望と悲観の往復
	10	普通の子供達の典型的な表現	普通の子供たちと変わらない典型的な外見と
	33	自身の子供	自身の他の子供
56	2	他の障害を持つ家族	他の障害のある子供を持つ家族
	12	きょうだい自身の考え方は	兄弟児の自己概念は
	14-15	比較することに影響を及ぼすかもしれない。しかしながら、またそれは彼らの成熟を増大させることに影響を及ぼすかもしれない(Gray, 1998)。	比較することを反映している可能性もある。しかしそれはまた彼らの成熟度の高さを反映している可能性もある(Gray, 1998)。
	29	現在進行形の	継続的な
57	5-6	脳の発達の違いについて、自閉症の予後のとてつもない流動性について、部分的に説明している	脳の発達の違いが自閉症の予後の大きなばらつきを部分的に説明している。
	9	得られず、苦しむかもしれない	得られないかもしれない
	21	期待すること、を変える	期待することを変える
	32-34	介入者は、家族システムの中で起きる変化、すなわち、自閉症の子供と向き合っている間に、介入が進み、役割と期待が変化してしまったときに起こるかもしれない変化を予測し、それに気づくことで	介入者は介入が進むにつれて家族システムの中で起きる変化や、自閉症の子供に対する役割と期待が変化することを予測し、気づけるよう
58	6	臨床トレーニングしている	臨床トレーニングを受けたことのある
	15	相互のあるいは創造的才能	交流や創造性に関する才能
	15-16	よく躰の定着した家庭のルーティン	しっかり確立した家庭のルーチン
	19	現在進行中の	継続して
	24	これらの家族のサポートネットワークに加えられた全てのことは	これら全てが家族のサポートネットワークに加えられ、
59	2	彼らのニーズにかなう	彼らの子供のニーズにかなう
	14	強調する。それどころか～	強調する。ESDMのチームリーダーは権威主義的な立場を取らない。それどころか～
	20	管理と所有を行い	管理と所有ができるよう助け
	23	要求	要件
	32	限定的な環境	制約的な環境
60	3	要求	要件
	5	書いてほしい	書きたい
	15	親は一生続くそのようなミーティングに、先駆けて	親は今後一生そのようなミーティングに

ページ	行	修正前	修正後
	23	個別指導	個別取り出し指導
61	16-17	介入指導から自分達でできることが増えてきたということであり、	介入指導から得られるものは全て得たという時があり、それは
	32	専門家でもある。	専門家でもあるので、親がそれを望む理由をしっかりと傾聴し、子供に対する目標をサポートする必要がある。
	33-34	十分心の準備をしておくべきであり、～	の支援が必要である。なぜならば～
62	9	親が成功を感じるために必要である。	親の成功として評価する必要がある。
	11	この普通の親としての反応を強調することは～	これが親として普通の反応であることを強調することは～
	29-30	家族にコミュニケーションの一つの方法を提供し、	家族に対して1つのコミュニケーションの窓口を提供し、
	32	ケアを提供するのは	ケアを提供する上で
63	1	分野的な役割を開放する	特定の分野の役割を他者に委ねる
第4章			
64	7-8	目標が新しく経験されるものか経験させるには高度なのかなど	新人であれ、経験豊かな人であれ
	13	といった用語で	に関して
	19	スキルのうち、スキルの	スキルの
67	2	もし有用なら	利用できる場合は
	13	感度がよく	ついて十分な感触を掴み
68	4	棒に差し	棒を持ち
	26	アイザックのところへ戻る	アイザックの方を見る
69	6	定位を伴って	体の向き
70	25	パーティー用の角笛	吹き戻し（ピロピロ笛）
	27、29	角笛	吹き戻し（ピロピロ笛）
71	9-10	ついていき、評価者が	ついて行き別のゲームを提示し、評価者が
	13	一度にページをぱらぱらとめくり	一度に1ページずつページをめくり
72	6	道具を使って上手なやり方で移動して	道具の間をうまく移動して
73	3	小さい手	少し手
	17	右側に棒を足す	正しい場所に棒を足す
	29	角の場所	正しい場所
	31	全部して	おしまい
74	4	形のペグ差し盤	シェーブソーター
	5	丸や三角にすべてをはめる	丸や三角以外を嵌める
	16	一日中	日中
	20	コップ	蓋のないコップ
	21	家族の食事もあるが	家族と食事をするが
75	28	療育	領域
76	10	スキルレベルを越えて	スキルレベルを考えると

ページ	行	修正前	修正後
	26	整髪	身だしなみ
77	8	集中指導が必要で、2～3ヶ月はゆうにかか るほどの挑戦であるともいえる	集中的な指導を考えると、2～3ヶ月かかる ほどのものである
	15、16、17	能力	長所（強み）
78	12	認識	認知
	30、32	12週間、12週	12ヶ月
79	6	挑戦しかつ遂行できる	困難ではあるが実行できる
	20	子供が習得することで	子供が習得するには
80	7-8	浴室から離れる時	トイレを出る時
81	7	これらの設定場面は先行条件ではない	これらは設定場面であって先行条件ではない
	30	共同注視	共同注意
82	3	次の点を標的としている	相手の指差しに従うことを標的としている
	16-17	パートナーの手本やパートナー自身の活動を 自然に語ることに反応して	パートナーの手本に応じて、また自分自身の 活動を言葉で説明する中で、
83	3-4	難しすぎて間違えより、簡単すぎて間違える 方が良い	難しすぎたという間違いより、簡単すぎたとい う間違いの方が良い
	18	自分の言葉	自分の遊び
	28	新しいやり取りを模倣している時等に	新しいやりとりを開始する時などに
84	22	2回だけ向き直っておもちゃで遊ぶ	2回以上再指示されることなくおもちゃで遊ぶ
85	5	人々の挨拶に振りかえる	人々の挨拶に返す
	16	これを必要とするための強みもあれば弱みも ある	これを必要とすることには長所もあれば短所 もある
	32	ここにあげる一例のように、表現する語彙を 膨らませて使おう。	語彙表出の発達を例として見てみよう。
86	4	このことへの支援を示す目標は指導の実用 性を維持している。	このことを特定する目標は指導が機能的な ものとなることを助ける。
87	18	頻度	流暢性
89	16	模倣 [MI] #2	模倣 [IM] #2
	24	それに近いものと言える	それに近いもので良い
90	8	パートナーのする	パートナーに対して
	11	芸術	図工
	15	子供のセッション	親子セッション
	24-25	あっという間に過ぎる時間と言える。	それだけの価値がある。
	27	わかりやすい標的のセット	包括的な標的のセット
91	4-5	自分達が他の人達としていることを共有し	自分たちがしていることを他の人と共有し
第5章			
93	2-3	具体的に示している	取り入れたものである
	22	パートナーや物と視線や微笑みを交わす	パートナーや物に交互に視線や微笑みを交 わす
94	4	「最終ステップから中盤へ」が機能すること である。	「最終ステップから中盤へ」進めていくこ と。

ページ	行	修正前	修正後
	25	内容の豊富さ	内容の付加
95	18	指導するため目標と順番が逆になった習得ステップ	指導するために目標とバックワードチェーニング（逆行連鎖）を含む習得ステップ
97	7	「直接に」	「向ける」
	20	この場合、異なるステップでそれぞれ新しい色の名前が言えるほうが好ましい	この方が、異なるステップでそれぞれ新しい色の名前が言えるより好ましい
98	8	2以上のパートナーや場面で	2人以上のパートナーと複数の場面で
	11	物に触る	物を扱う
99	5	2人以上の人々と2以上の場面に	2人以上の人または2つ以上の場面で
	7	難なく使うが、めったに使わないからだ	稀ではあるが、難なく使うからだ
	17-18	それによって、学習ステップの中に別々の目標が盛り込まれる	それは各々の学習ステップを持つ別々の目標で対応する
	20	一人で、パートナーとあるいは人形と、自発的に3以上の機能的遊びをする。	自分、パートナー、あるいは人形に、自発的に3つ以上の機能的遊びの動作をする。
	27	自発的に模倣する	自発的に開始する
	28	機能的遊びを模倣する	機能的遊びを開始する
	29	機能的遊びを模倣する	機能的遊びを開始する
100	13	セラピストが重んずる	それぞれの
	25	両側に	両面に
101	4	集中して声を出している	意図的に声を出している
	12	2～3	4～5
103	右側11	あそびをする／あそびを模倣する	動作を模倣する
104	左側13	3、4の	3～5の
	左側15-2	1個のツ小道具	1個の小道具
	左側15-5、6	他者で	他者に
106	2	記録する。	記録する。セッションが進んでいく中で、セラピストは現在の目標全てに対して取り組みを行い、子供の出来具合を記録すること。
	19	現在ステップ	獲得ステップ
	27	再始動	再指導
	31	役立つということを念頭に置いておく	役立つのでメモを書いておくこと
107	10、32	現在ステップ	獲得ステップ
	12	セラピーセッションを含む	セラピーセッションを表す
	13	調整されている。	調整することも可能である。
109	2	子供の目標の4分の1から	3ヶ月毎の子供の目標から
	5-6	何を指導すべきか、何がデータを集めるのに役立つ道具か、いかに子供が指導に反応するかに関して、セラピストを導く	何を指導すべきかに関してセラピストを導き、いかに子供が指導に反応しているかに関してデータを集めるツールである

ページ	行	修正前	修正後
	17	発達的な能力	発達面での長所
110	22-23	アイザックは抗議し、否定し、要求し、また視線とともにジェスチャーを使って助けを求める	アイザックは視線とジェスチャーを使って抗議し、否定し、要求し、助けを求める
111	2	手を開いて助けを求める	手を開いている相手に渡して助けを求める
	4	手を開かず、助けを求める	相手が手を開いて差し出さなくても助けを求める
	6	手を開かず、	相手が手を開いていなくても、
	8	部屋の中から	部屋の反対側から
	12	パートナーの近くを	近くにいるパートナーを
	14	集中して、振り返って見る	気をそらすことなく、振り返って見る
	19	部屋の中から	部屋の反対側から
	20	離れて場所	離れた場所
113	15	ものと言える	もので良い
114	12	模倣に反応して	開始に反応して
	13	3、4ラウンドの間	3～5ラウンド以上
	16	1回で反応する	1ラウンド反応する
	22	パートナーの	パートナーに対する
114	28	行為を模倣する	行為を開始する
	29	行為を模倣する	行為を開始する
	30	行為を模倣する	行為を開始する
第6章			
117	23	の予備活動	のセラピストの準備活動
118	7	社会的によって少ししか動機付けられない	社会的なものが動機付けとなることは少ない
	8	社会的な賞賛	社会的な承認
	14	自閉症のステレオタイプとは反対に	自閉症に値するステレオタイプ的見方とは反対に
	15	くすぐりごっこ、	くすぐりっこ、走り回ったり、
	26	具体物の外観 《2か所》	具体物の外観や仕掛け
119	3	長引いたスナックタイム	少し発展させたスナックタイム
120	11	顔の近くに持っていく	顔の近くにすぐに持っていけるようにしておく。
	15-16	セラピストの顔を最初に合わせるより、	まずはセラピストの顔を
	23	本の活動をしようとする時	本の活動をする傾向があるが、
121	1-2	大人は彼または彼女自身を床の上に座らせたり	大人自身は床の上に座ったり
	5	平たくなっていることを確かめ	しっかり付いていることを確かめ

ページ	行	修正前	修正後
	12	(抜け) (～アペンディックスAを参照のこと)。の後に挿入してください	子どもの心の中であなたが活動の一端を担っている(一部となる)ために子供にジョインする:ジョインはしたいですが、子供の動機づけが低下しないような形でそれを行う必要があります。子供が私たちのことをよく知るようにになれば、私たちが遊びに自分たちのペースを加える自由度は高くなりますが、最初のうちは子供は私たちの存在を嫌ったり、それに気づかないように見えることがあります。子供からの不快感のサインを最小限に抑えるためには大人は子供のキューをよく観察して感受性を持って参加のレベルを調節する必要があります。私たちは子供が我々の存在に対して快適に感じる程度を高め、子供のゴール達成を容易にしたり活動をより興味あるものにすることで活動への動機付けが高まることを私たちは望んでいます。そのことで我々の存在による強化の価値が高まります。
	13	出来るだけ接近している方が快適である	子供が不快を感じない程度に接近する
	17-18	彼らに言葉をかぶせなさい	それを言葉でナレーションしなさい
	20	与える間	与えながら
	25	手を伸ばしている項目の一つを与え、より近くに押しなさい。	手を伸ばしているものの一つを与えたり、近くに押ししたりしなさい。
	32	難しい蓋のついた明瞭な蓋つき容器	開けにくい蓋のついた透明な容器
122	15	その子供のテーマを	その子供の遊びのテーマを
	21	自閉症の子供達のグループは	自閉症の子供達は集団としてみた場合
123	13	貨物列車を一緒に作っているなら	線路を一緒に作っているなら
	28	残りの用具を取り除きなさい	残りの用具を片付けなさい
124	4	遊びの最後の部分を完了する	遊びのステップを完了する
	7	物を手渡すことに	物を扱うことに
	30	またはある一般的な活動に	または共通の活動に
125	7-8	飛び跳ねたり、パズルを作ったりなど。	飛び跳ねたり、何かを作ったり、パズルをしたりなど。
	12-13	最初に共有した遊び活動の樹立に先立つ行為を含む	最初の共有活動の確立に先立つ行為を含む
	28-30	異なった活動の連続、あるものより活動的で、あるものは机について行い、さらにあるものはより具体物に注目し、いくつかはより対人的な活動に移り進んで、最後は終わりの挨拶ルーチンで終わるのである	より活動的なものや机での活動、具体的に焦点を当てたものや対人的な活動など一連の様々な(多様な)活動を行い、最後に終わりの挨拶ルーチンでその日の療育セッションを終える
126	24-25	大人は追加の標的行動またはそのテーマを更に発展させるため	大人は追加の標的行動や用具を遊びの中に取り入れ、またはそのテーマを更に発展させ、
127	5-6	与えたり、分かち合ったり、見せあったり、用具を指さしたり	用具を与えたり、分かち合ったり、見せ合ったり、指さしたり
	9	具体物との共同活動	具体物を用いた共同活動
	21	しばしば手本で示す	時折手本で示す
128	27-28	目まぐるしくの散りやすい子供に再注目させる	目まぐるしく気の散りやすい子供が再度集中できるようにする

ページ	行	修正前	修正後
129	1-3	またはビーンバックの中で、顔をセラピストに向かせるか、前述したようにセラピストが座っているボールの上で、または前に立って	小さな椅子やビーンバックの中で顔をセラピストの方に向かせたり、前述したようにセラピストが座っているボールの上で、セラピストがその正面に立つか座るかして
130	32-33	セラピストに対する要求として物を活性化するためにその要求を取り扱う。	セラピストが物を操作することに対する要求として取り扱う。
131	12	子供が否定的な経験によってルーチンに関わるべきではないと考えている。	子供がルーチンを否定的な経験と関係付けて欲しくないと考えている。
	31-32	コミュニケーションを取ることを開始し、反応し、あるいは感覚対人ルーチンを続ける	コミュニケーションをとることで感覚対人ルーチンを開始し、それに反応し、続ける
132	6-7	電報方式で歌いはじめ	簡潔な形で歌い始め
133	25	「うーん」や「あー」のノイズを出す	「おいしい」や「あー」の音を出す
134	17	準備の活動と同様に	前置詞指導の活動と同様に
	18	準備仕事と同様	前置詞に関わる活動と同様
	21-22	(粘土の入れ物の蓋の色を合わせるか、それらを閉めるためにマーカーを合わせる)	(粘土の入れ物の蓋やマーカーのキャップを閉めるために、粘土やマーカーと蓋やキャップの色合わせをする)
	25	一時的な順序	時間的な順序
	25	計画は一時的な順序を含む	片付けには時間的な順序が含まれる
	27	一時的な順序において	時間的な順序において
	30-31	このような言葉での期待は、子供達に未来を想像するのを許し、それによって計画する	このように言葉で予期させることにより、子供たちはこの先何があるか想像することができ、それに従って計画できる
	33-35	片付けはその子供に、認知的一時的計画から何か別のものに飛び移り、移動する衝動を押さえ、待ち、取り組むことを要求する	片付けをするためには他のことに移りたい衝動を抑え、待つこと、認知的、時間的計画に従って取り組むことを子供に要求する
135	3-4	新しい目標を留めるというこの行為は、そして、何か別のことが完了する間待つことは、	新しい目標を留め、何か別のことが完了する間待つという行為は
	7-8	伝達され、しばしば自閉症は影響を受けている。	が介在し、それは自閉症ではしばしば影響を受けている。
	11	まさに生じる順序を	直前に生じた順序を
136	14-16	もしセラピストが最初にそれらを荷ほどきするのであれば、より意味がある。それは片付けに対して、大人の指示をより少なくし、いくらか人為的な要求をより少なくし	最初にそれを荷ほどきしていれば、より意味がある。それにより片付けに対する大人主導の人為的な要求をより少なくし
138	6	場所へ引っ張ったり	場所へ導いたり
	7	または動かすために引っ張り上げている	または動かすために抱き上げている
	18	移行を回避するためではない。	移行を回避する理由とはならない。
140	19-20	それは問題行動をさらに増大させる一消去カーブ問題行動の減少が起こる前に	それは問題行動の現象が起こる前に、問題行動をさらに増大させる一消去曲線
141	20	けがのリスクにおいて	けがのリスクのある
	26	実行していないかもしれない	実行しても良い
142	8-9	訳者注：不随意的な四肢または体感の震え。小さな連続的な筋収縮を含む	訳者注：意図的な動作を行う際の不随意的な震え、小さな連続的な筋収縮を含む。
	24	葛藤や問題行動と導かない状況で	葛藤や問題行動を導かない状況で

ページ	行	修正前	修正後
143	20-22	すなわち、セラピストは、セラピストの行為の模倣を要求でき、短い時間、物を彼らがコントロールすること、「ごくわずか」への自由を強化することが出来る	従って、セラピストの行為の模倣を要求し、それができたら短い時間子供がそのものをコントロールし、刺激に従うことを強化子とすることができる
144	16-17	机と椅子、粗大運動	机と椅子、本を読むビーンバッグチェア、粗大運動
	30	推敲が増大することによって	発展が加わることによって
145	表6. 1左端列	1行目の見出しに何も入っていないところ	活動
	2列目3項目	カーペットの上で	カーペットの上で動く
	2列目4項目	カーペットの上で	カーペットの上に立つて
	4列目5項目	粗大運動	微細運動
	2列目6項目	カーペットの上で	カーペットの上に立つて
	3列目6項目	飛び跳ね	つつく
	4列目7項目	模倣、運動	対人、微細運動
	2列目8項目	カーペットの上で	カーペットの上に立つて
	2列目11項目	こんにちをする椅子	挨拶をする椅子
146	5	より洗練されたステップの	より洗練されたマルチステップの
	16	ふたつ目の習性になる	獲得した習性になる
147	3	あいさつ：	あいさつ：あいさつのルーチン
	7	床の上での運動活動：	床の上での運動活動：ボール活動
150	5	何をするか、セラピストは	何をするか、それぞれの目標に対してどのように取り組むか、セラピストは
151	2	ビーンバック、椅子、	ビーンバッグ椅子、
	18-20	3-5日で週20時間以上子供達は個別指導を受ける。1-2週間で、子供達にとって1日に1-2時間個別指導を受けることになる	週20時間以上指導を受けている場合は3-5日で、1日に1-2時間個別指導を受けている場合は1-2週間単位で見る
153	18	いけない。) 学習が発生していないステップへの取り組みを続けることは、子供と大人の両方のモチベーションに影響を与える	いけない。) 学習が発生していないステップへの取り組みを続けることは、子供と大人の両方のモチベーションに影響を与える
154	10-11	正しい行動をさせることを先行させる	服を着ることを先行させる。
	13-14	この流れでの活動を期待し	スケジュールで活動を予期し
	16	子供が参加し	子供が予期し
155	12-13	セラピストは、名前を呼ばれるという区別を、いかに子供にとって目を引く指導ステップにできるか？	セラピストは指導ステップにおいて求められる弁別課題を子供にとってより目立つものにするにはどうすれば良いか？
156	3	刺激として他の幾つかの社会的コミュニケーションを	他の幾つかの社会的コミュニケーションを刺激として
	27	関係性のあるタイプは	あるタイプの関係性は
	29-30	注意がセラピストに引きつける	注意をセラピストに引きつける
157	2	より参加している状態から	より集中した状態から
	16	一時的な連続性	時間的な連続性
	21	と矛盾する。	を隠してしまう。
	23	採用されねばならない	手を加えなければならない

ページ	行	修正前	修正後
第7章			
158	14	模倣は意識的な注意	模倣は意識的な意図
159	4	表出言語	話し言葉
	28	物を扱い方	物の扱い方
160	29	擬似音をの真似をする動きを	擬似音を使うことで真似をする動きを
161	4	リズムカル「ルーク、～	リズムカルに「ルーク、～
162	26	いくらか多様化しても	いくらか多様化すると
163	1	大人が模倣のプロンプトを～	大人がポンポンを振るモデルを示し、子供が模倣する。これを数回繰り返した後、大人が模倣のプロンプトを～
	8-9	模倣ゲームは、感覚対人ルーチンを非常に強化するのである！	模倣ゲームは、強い強化子を持つ感覚対人ルーチンとなる。
164	27	しようとしている場合を除く	しようとするのではなく
165	3-4	不完全な模倣を形にしてあげればよいことである。	不完全な模倣のシェーピングはできる。
	4	部分的な模倣を教示する初期の段階では、	初期の段階では、
166	9	なんとしても	ぜひとも
	13	「吹く」という動作を	「吹く」という動作の
	31	会話での身振り（注：2箇所あり）	慣習的身振り
168	27-28	前のステップを立ち戻って	前のステップに立ち戻って、
170	8	種たる方法	主たる方法
	23	模倣をできた後にも	模倣を自立してできた後にも
171	4-5	ルーチンの一部で部分的なものであるし、	ルーチンの重要な部分であり
172	11	役立つこれを	役立つ。これを
173	1	帽子、パン、コップ、スプーン	帽子、プレスレット、ブラシ、コップ、スプーン
	14	同じ超な	同じような
	32	定型発達児の模倣をして、	定型発達児の模倣をプロンプトして、
	34-次ページ	面白い遊び方をすることがあり、定型発達児がそれを模倣するだろうということにも留意しておくべき	おもしろい小道具を持っていて、定型発達児がそれを模倣できるということにも留意しておくべき
174	14	その他の自然主義的な教え方としては、	その他の自然主義的な教え方と同じように、
	21	その「対象」を子供に手渡し	その「物」を子供に手渡し
	31	自発的な機能的活動を始めたそうであれば	自発的に機能的活動を始めない場合には
178	2	劇の台本	遊びの台本
	7	(5) お店の人からおつりをもらう、	(5) お店の人から食べ物をもらう
180	4	言語模倣について	言語模倣の指導法について
第8章			
181	10	コミュニケーションシステムの頂点に	コミュニケーションシステムの上に
182	12	養育者との間に注意を調整する出来事が続く。	養育者との間で調整された注意を短時間持続することがある (Legerstee, Markova & Fisher. 2007)。
	17	子供の社会的相互行為の	子供を社会的相互行為の

ページ	行	修正前	修正後
	31	表すことが含まれている。	表すことが含まれている (Brauner, 1995)。
183	20	行動を用心深く始めて	活動を意識的に始めて
184	2	彼女は彼と両足を一緒に軽くたたく	彼女は彼の両足を合わせて一緒に軽く叩く
	3-4	(どちらもアイコンタクトであり、彼の欲求を表すほほえみであった	(アイコンタクトもほほえみもどちらも彼の欲求を表していた
	8	同じことをした。	同じことをし、彼は生き生きしたほほえみとアイコンタクトで応えた。
	9	手をあげたが	手をあげたが (ジェスチャー)
	10	両足をあげた (自然な身振り)。	両足を上げ (自然な身振り)、彼女は活動を再開した。
	10-11	彼女は足を上げているのは模倣の一種と解釈して	最後に彼女は少し待ち、彼は両手を叩いた (自然なジェスチャー)。彼女はこれをも彼の足の動作の模倣の一種であると解釈して
	12	足のほうにあげた。	足に当てた。
	13	再び彼は足を打ち鳴らし	再び彼は手を叩き
	25	親は子供が欲して	大人は子供が欲して
186	12	腕全体を伸ばす	手を伸ばす
	12	協調的な行動	先を見通した行動
	14	協調的な行動	参加型な行動
	16	プロンプトのため手を振る	プロンプトを受けて (に対して) 手を振る
187	3	身振りと注目を	身振りと視線を
	20	待つことの大事さが分かる	待つようにしています
	20-22	彼女は、待つこと、遮ること、彼女の反応に十分に慣れる時まで反応しないことなど、知っているプロンプトのテクニックを使って、この子供のアイコンタクトを引き出したのである	彼女は待つ、遮る、彼女の反応に十分慣れている場合には時折反応しないことなど、アイコンタクトを引き出すことができるとわかっているプロンプトのテクニックを用いたのである
	25-27	ルークが、プロンプト～必要がある。	ルークが一貫して彼女のプロンプトに対して視線を向けるようになると、ジェスチャーと調整のとれた自発的な視線を引き出すために、部分的なプロンプト、言葉によるプロンプトや待つことでプロンプトをフェーデウィングしていく必要がある。
189	6	繰り返すが、ここでは、	これは時間とともに
	12	相互行為を開始しようとしたり	相互行為を開始、継続しようとしたり
190	12-13	身振りに言葉を組み合わせることを通して、～学ぶことになる	身振りに組み合わせる適切な言葉の指導も同じように行う。
191	13-14	なったら、セラピストが通常やるように	なったら、ゲームに顔の表情を加え、セラピストはやりながら
	23	について、セラピスト自身の	を使って、セラピスト自身の
193	2-3	影響を与えてセラピスト	影響を与えて自分の
	5	おもちゃのコンテナ	おもちゃを入れた容器

ページ	行	修正前	修正後
	7	手助けをさせるように仕向けることができる。	手助けを求めて渡す行為をさせることができる。
	9	手助けするようもっていく。	手助けを求めようもっていく。
	10	手助けさせるようにすることである。	手助けを求めて渡すようにさせることである。
	16	手助けを求めること	手助けを求めて渡すこと
	32-33	今度はセラピストが共有することを与える番である	今度はセラピストが共有するために渡す番である。
194	3-4	子供がおもちゃを差し出したら、それを取ってはならない。その代わりに、子供の「物を渡すという身振り」に対する全部の反応をしないでおく	子供があなたにおもちゃを差し出しても、それを取ることはせず、子供の渡すジェスチャーに対してしっかりとそのものを見せる
	4-6	(もし必要であれば、“差し出す”が続いているように最後まで子供の手をしっかり持っていて良い。しかし、おもちゃを受け取ってはいけない)	(見せ終わるまで「あげる」が持続するように子供の手を固定するがそれを取らない) そうすることで「見せる」ことを子供に強化する
	9	どうやって見せることを教えるか、に加え	子供に見せ方を教えることに加え、
	12	「ちょうだい」の身振りと組み合わせて指し示すようにする。	子供が持っている、または見ているものに向けた「ちょうだい」の身振りと組み合わせる。
	12-13	セラピストの手を～プロンプトを加える。	子供にそのものを渡すことをプロンプトするため、セラピストは手の平を出す。
	17	身振りの調整	身振りの協調
	20	継続的	間欠的
	28	共有させたり、見せたりする	共有したり、手助けを求める
	30	最終ステップは維持である。	最終ステップは持続である。
	32	最初より2番目に	最初でなく、2回目に
195	15-16	状況は様々で、材料は様々であっても、我々が指さした時に	様々な状況、様々な教材で、我々が指差した場所で
	23	接近して手をのばすこと	近くまで手を伸ばすこと
	30	多様な材料を	複数のピースからなる材料を
196	5	つけると良い。	つけると良い。子供が自発的に印に触れるようになったら、子供が欲しがる他のものにも印をつける。
	5-6	子供が継続的に自発的に近接する物への指さしが出来ようになったら、	子供が継続的、自発的に近接するものを要求するための指差しができるようになったら、
	11-12	我々はアイコンタクトを求めないで指差しの身振りを教えた。	我々はまずアイコンタクトを求めないで指差しの身振りを教える。
	23	指さしとものを要求させるやり方	指差しと渡すことでものを要求する
	28-29	大人は子供がその絵がラベルづけされていることに	大人はラベルづけされた絵に子供が
197	6	名前を呼んで見るようにプロンプトするか	名前を呼ぶか、
	11	子供が自分で指さしをしていくようになるまで	子供が自分で指差しをして活動をリードするまで
	30	教える身振りを確認し、	教える身振りを特定し、

ページ	行	修正前	修正後
198	2	区別して強化する	分化強化する
	2-3	しかしながら、これらのどれをも含んでいない身振りを作り出したとしてもそれを強化しなさい	しかしこれらのジェスチャーすべてを含んではいない場合にもジェスチャーが出たら強化するように
第9章			
199	4	一部分	重要な部分
	4	理解言語	受容言語
	5	自発的で生産性のある	自発的で生成的な
	10	話し言葉を生み出すシステムの	発語生成器官の
	12-13	むしろ視線や身振りの意味が付加されたイントネーション	むしろ意味を付加する視線や身振り、イントネーション
	16	非言語性コミュニケーションに関しては、	非言語性コミュニケーション同様
	16-18	主要な目標は子供に幅広い語用論的な機能、すなわち行動の調節と同様に、コメントや共同注意、確認、拒否、反対、挨拶、注意を得るといった機能を伝えるために話し言葉を使うことを教えることである	主要な目的は行動の調節同様、子供に幅広い語用論的な機能—コメント、共同注意、確認、反対、拒否、挨拶、注意獲得—を伝えるために話し言葉を使うことを教えることにある
200	24	増加させる能力	発声する能力
	28	定型発達の特性の順序に沿っている。	定型発達に特徴的な順序に沿っている。
	28	主に中間と奥に位置する母音	主に口腔内の中央と奥に位置する母音
201	5	最終的な段階では	発語生成の最終的な段階では
	11	我々のすべての語音を	特定の言語におけるすべての語音を
	12	(例えばt,h,r,j)	(例えばth,r,j)
	27	(Macann & Peppe, 2003)	(MacCann & Peppe, 2003)
202	2	特に強化をする	分化強化をする
	4	声を出すことを強化しなければならない。	声を出したことを強化しなければならない。
	6-8	(もう一度大人の模倣への子供の反応に注意しながら、そしてその子供の発声が、どんな語用論上の目標を表現したとしてもその目標を最後までやり通させる)。	(ここでも大人の模倣への子供の反応に注意しながら)、そしてその子供の発声がどんな語用論の目標を表現したとしてもその目標を最後までやり通す。
	10	おもちゃの本	おもちゃや本
	22	子供の出す音をそれに関係する言葉にマッチングさせる	子供の出す音を大人がそれに関連する言葉にマッチングさせる
	30-31	それからジルはモーリーを弾ませるのを短い間止めて、	それからジルは少しだけモーリーを弾ませ、止め、
203	16	断続的に	順次
	31	本物の話し言葉で	実際の単語で
204	3-4	もう一度子供がそれを言うのを待ちながら「ザザ」と言ってモデリングする。	「ザザ」と言ってモデリングをし、子供がそれを言うのを待つ。
	11-12	そして子供の好みの活動と一緒に子供の模倣を引き出す。	そして子供が模倣したことの結果として子供の好きな活動をさせる。
	25	びんに浸し	シャボン液に浸し
	31	いつも子供の目標の結果として模倣が発生するのがわかるだろう。	いつも模倣が発生すると、その結果子供の目標が達成するのがわかる。

ページ	行	修正前	修正後
205	21-22	繰り返し言いながらブロックを順番交代に積み重ねる。	繰り返し言いながら、ブロックをリーに渡し、リーはそれを積み重ねる。
	34	ルーティンを精密化する	ルーティンを発展させる
206	1	行動のきっかけ	行動のはずみ
	8	共同活動のルーティンを精密化したり	共同活動のルーティンを発展させたり
	31	精密な区別	弁別
	33-34	彼が知っているラベルである	彼がラベルを知っている
207	4-5	数えるためにこの傾向を使うことになる。	教えるためにこの傾向を使う。
	7	間違っただけを得ること	自分が欲しいものとは違ったものを得ること
	18	報いたい	讃えたい
208	12	クッキー、シャボン玉	クッキー、本、シャボン玉
	12-13	動作そのものに近い言葉をひき出すようにする	動作を表す語に近い音を引き出すようにする
209	10	多様な発語を発達させる	複数の後からなる文を発達させる
210	14	他の塔にあるブロック	塔に使われている他のブロック
	21	有効で	有用で
	27	統語を指導を含む	統語の指導を含む
	27	3語文の発話にすでに移行している子供	3語文の発話の準備ができています
211	4	hart	Hart
	19-20	大人はエクспанション(拡大) やコメントをするために1語「上」をモデリングとして使うようにする	大人はモデルを示したり、エクспанションやコメントをするために1語多い文を使います
	23-24	子供はその時々それを真似することから始め、より流暢で自発的に	子供は時々それを自発的に使い、さらにより頻繁に自発的に
212	2-3	むしろ子供の意図した物事を提供されている間に、大人が改めて再表現をするかということなのである	むしろ子供のゴールを達成しつつ、大人が再表現するという事です
	4-5	再表現というのは、大人が子供の目標物を渡しながらか大人が言う「上手にお話してるね」とか「よくーって言えたね」「上手にちょうだいって言えたね」といった反応ではない	再表現とは、大人が、子供の目標としているものを提供しながら大人が言う言葉で、それは「上手にお話してるね」とか「よくーって言えたね」「上手にちょうだいって言えたね」とかではありません
	21	猫たちの鼻でキスをさせた	キスの音を出した
213	11-14	共同活動の中で1語の発話をコミュニケーション豊かに使うこと。そして、子供の単単語の発話に対しては、もしそれが自発的で意味がたくさん詰まっているのであれば、それに対してすぐに反応すること	共同活動の中で1語文をコミュニケーションのために使うこと。そして子供の1語文に対してもそれを自発的で十分意味あるものとして反応すること
	16	表出が得られるように	表出が得られるまで
	30	子供達の発達プログラムは	子供たちの言葉の発達プログラムは
214	11-13	我々の経験では、表出と理解両方の複数語の発話を含みながら、またマジックテープで単語が添えられた絵を使いながら、話し言葉のある子供達がたどるのと同じステップを通してこのグループの子供達の言語も発達する	我々の経験では、子供たちはマジックテープで単語を並べて文にするストリップの上に絵を並べて使うことで、複数語文を含めて、表出と理解の両方において話し言葉のある子供と同じステップをたどって発達することができる

ページ	行	修正前	修正後
216	7	頭を向ける	向かう
	13	物語をする遊びという	遊びをナレーションするという
	19-20	同時に大部分は口頭でのコミュニケーションの意味を繰り返し教えることなのであろう	同時に大部分は口頭でのコミュニケーションの意味を教えていることでもある
217	16	一般的に大人なら誰でも	一般的に誰でも
	28	この場面では、子供が座ることが毎回起こる。	子供が椅子に座るたびにこの流れを経験する。
	30	先行条件は効果の効力を発揮して行動と結びつけられる。	先行条件は強化子となる結果の力により、行動と結びつけられる。
218	8	前の活動に引き戻してしまうことを意味しているわけでもない。	前の活動に引き戻して片付けさせることを意味しているわけでもない。
	15	このルーティンが強い強化となるためには	このルーティンそのものが強い強化子となるまでは
	22	受容言語を学ぶことでもある。	受容言語を学ぶことにもつながる。
	30	受要も理解も	表出も理解も
219	1-2	非言語的な言葉を使ったコミュニケーション	非言語的、および言語的コミュニケーション
	14-15	感情や共有や注意や	感情や注意の共有や
	19	自己管理のスキル	身辺自立のスキル
第10章			
221	2	大人に自発的に興味を持つ	大人と自発的に関わる
	21	連続的に関わっていく	順番に関わっていく
222	10	目立たなくすることを必要としている	目立たなくする必要がある
	14	それに伴う	並存している
223	1	によって確認できるので	を確実にするので
	13	場所で仕切られ	アイランド（センター）に分けられ
224	6	コミュニケーション活動を含む	地域活動に関連する
225	5	内にあるような位置にあるべきだ	内にあり監督できる位置にあるべきだ
	13	配慮がなされているか	必要か
	28-29	全員の安全を守るのに適切であり、すべてのグループ活動中に起動しているものであるか	全ての活動中に全員が安全に活動に取り組む上で適切なものであるか
	30	継続的で追加の大人の支援が教室で必要か	追加の大人の支援が継続的に教室で必要か
226	1	設定をすることと教室での問題を	設定することと、既存の教室での問題を
	3	ある活動に問題となる環境的な困難さの可能性を	ある活動に問題となる可能性のある環境面での困難さを
	11	継続的で予測可能な	一貫性があり、予測可能な
227	1	一日のスケジュールの中で、	1日のスケジュールの中に組み込まれた
	11	個人指導をするためのスタッフの有用性は	個人指導するために何人のスタッフが利用できるかは
	15-16	複数の人に興味を持つか	複数の人と関わるか
	23	10分短いものになっていた	10分未満になっていた
	23-24	模倣と物を媒介にした仲間との相互交渉を学ぶことにも	模倣と仲間との相互交渉を学ぶという目標にも

ページ	行	修正前	修正後
	27	安易ではない	容易ではない
228	14	芸術活動	図工活動
	20	感覚刺激、SSR	感覚対人ルーチン (SSR)
229	2	子供それぞれにあるが	子供それぞれで異なるが
	9	ほとんどの活動に	ほとんどの目標に対して
	13-14	子供のそれぞれの活動の指導を記録した	子供のそれぞれの指導活動後に記録する
	16-17	次の週のための～更新される	次の週のデイリーデータシートを更新し、次週の獲得ステップと維持ステップを特定する
	25	一定量以上の	一定の
	28-29	一人になったり～構造化の減少に反応し	構造化が減少すると、孤立したり、エンゲージメントの度合いが低くなったり、整理統合ができなくなるなどの反応を示し、
230	15	教室でのスムーズな役割分担	教室でのスムーズな流れを作る
	16	集団とニーズや	集団のニーズや
	16-17	必要な計画の段階には	必要なレベルの計画には
	17-18	複雑な役割分担の計画を立てるために	この複雑な状況のスムーズな流れを作るために
	19	その日の活動の流れについての	1日の主要なルーチン活動についての
	20	表1, 2	表10, 2
231	7-8	現在行っていることをもとに、～子供との相互交渉について評価し	スタッフの役割、指導技術、子供との相互交渉について継続的に評価し
	24	セラピスト達全員で	セラピスト達全員で週一回
	25	15分のミーティングを持ち	15分の短いミーティングを持ち
	28-29	あらかじめ導き出した～変更を行う	前に決定樹で示した機能的行動計画や様々な目標における学習速度向上のために必要な変更を行う
232	5	グループ指導	始めの会（朝の会）
	6-7	（メアリー先生）小グループ活動を解散させる。	段階的に子供をグループ活動から移動させる
	6-7	（ジェーン先生）小グループを補佐し、子供達の	最初のグループの子供達の
	6-10	（ジョー先生）集団全体の～最後の子供達の手洗いを手助けする	最初のグループの子供が手洗いを終えるまでグループを補佐する。第2、第3グループの子供達の手洗いとテーブルへの移動を手助けする
	8	（メアリー先生）小グループの終わりに	最後のグループの
	11	（ジェーン先生）「おやつ」時間を開始	つなぎの活動を開始
	12-13	（メアリー先生）おやつテーブルにつかせる	おやつテーブルにつく
	19	（活動）小グループ	始まりの会
	27	（活動）センター	センター活動、個別学習
	27	（ジョニー、スージー、マーク）センター遊び	センター活動
	30	問題を考えておく	問題を認識しておく
	32	関係性に関し行われる議論を支える必要についてである	関係性に関する継続的な議論を支えるものでなければならない

ページ	行	修正前	修正後
233	1	指示	指導
	3-4	子供が集団の中の指示でも参加することができ、助けを得る	子供が集団指導に参加することができ、その恩恵を得る
	10-11	他の子供と同じように自閉症のある子どもにわかりやすい	他の子どもにも、自閉症のある子どもにもわかりやすい
	11-12	リズム遊び等)を～口頭でも伝える	リズム楽器活動や順番に物を渡していくことを含む物を見せて説明する活動など)を選択する
	18-19	言い換えると～そこに加えられていない	動機付けとなる物や活動が十分な頻度で提供されていない、
	21	高頻度に行うのを待つこと	高頻度に行うことを期待し
	26-27	子供達がどのようにそれに参加し、～集団活動を設定していく	子供がやり方をすでに知っていることに関して集団活動を設定していくことは子供の参加とエンゲージメントをサポートすることになる
234	5	受身的に観察する	受身的に座って観察する
	8	グループのスキルの	グループ内の子供のスキルの
	15	必要とする子供達のために	変化を必要とする子供達のために
	23	手伝わせられるかもしれない	手伝ってもらいながらやるかもしれない
	29-30	自立している活動に	自立して教材を使っている活動に
235	33-1	ほかの一人で遊んでいる子供が	その子が
	18	18行目の文章の後に追加	リーダーは前もって活動全体を考え、小道具、目標、アイデアをメモしておく必要がある。その活動は1週間続くので、計画を立てたらそれを1週間行うことを忘れないようにすること。表10.4には3～4人の子供のグループに対して色、形、数字を強調するフェルトボード活動の例を示す。受容言語、表出言語、ソーシャルスキル、認知スキルの教材の使用が計画に入っている。
	25	線のストロークの模倣	線の模倣
236	6	手続きと	方略と
	20	日常生活活動や	身辺自立活動や
237	28-29	機会があるごとに教えられ学習される	は指導と学習の機会を最大化する
	29	適切な部分での	かなりの部分での
238	2-3	「全部終わり」を砂の入った箱に蓋をすることで示し	「全部終わり」をサインで伝え、砂の入った箱に蓋をし
	14-15	集団に補助教師1人では足りなくなっていて	集団に補助教師が一人足りなくなっていて
	30-31	複合的な合図、大人の利用、一人ですための計画など	複数の合図、大人の利用、個別計画など
241	13	援助についてよくわかっているスタッフから	援助が馴染みのあるスタッフから
	19-20	スタッフの能力を	スタッフがどれだけいるかを
	25	いくつかの段階について示す	ヒエラルキーについて示す
	25	最小限のすべての移行を示す	移行を示す基本的な
242	18	活動のルーティンにしたがって	ルーティンに従って
	28	(視覚的支援の	(移行のための視覚的支援の

ページ	行	修正前	修正後
243	16	水遊び「リング・	水遊び、「リング・
244	3	共同注意のルーティン	共同活動ルーティン
	15	活動ルーティン	共同活動ルーティン
	18	活動の足場	交流の足場
	22	教室の活動時間でもそれを	教室の活動時間でも練習を
246	10	子供の近くで食事を配り	近くの子供に食事を配り
247	29	最小の援助で最大の効果が得られる方略を用いよう。	最も少ない援助から始めて徐々に援助を増やす方略を用い、子供の手を操作する時間は最小限に留める。
	32	食器を持っているのと	フォークやスプーンを持っているのと
	34	すぐに皿を取り除こう	少しの間皿を取り除こう
248	4	4行目の文章の後に追加	食事の経験に関しては、数に関係なく目標を持つことは正当なことであり、価値があるが、他の活動と同じくそれを実施するには綿密な計画と、チームのコミュニケーションと準備を必要とする。
249	3	このやり方については	こうして
	4	子供の伸ばすべき	子供の継続的な
250	29	29と30行目の間に挿入	・活字の文字及び数字のマッチングができる
			・アルファベットの文字の名前がわかる
	30	30と31行目の間に挿入	・ABCの歌を歌ったことがある
	41	ボールを投げる	投げることと受けること
	43	音楽の活動の時間に集団でのリズム遊びの経験がある	音楽に合わせて体を動かす活動の経験がある
252	32-33	子供がその下のレベルで失敗した決定的な項目を確定すること	子供が下のレベルで合格となっていない重要なスキルを特定すること
255	16	形の分類箱と蓋	蓋付きのシェーブソーター
256	使い方3行目	各項目の詳しい説明や～ESDMマニュアルを参照してください	各項目の詳しい説明については270～296ページを、実施方法については付録Bを参照してください
	使い方9行目	不確実にしかできない	一貫性を持って実行できていない
	使い方15～16行目	しかしながら、スキルを習得していた子どもが次のレベルの始めの方の項目において躓いた場合には、	しかしながら、子供が特定のレベルの初めの方のスキルを習得している場合には、
257	11列目	触る（チェックリスト 3 ページ受容コミュニケーション10）	手を伸ばす
	25列目	1つを選ぶ（チェックリスト3ページ表出コミュニケーション8）	1つを選んで指差す
260	6列目	犬、赤ちゃんなど（チェックリスト6ページ受容コミュニケーション5）	犬、猫、赤ちゃんなど
261	3列目	感覚遊び（チェックリスト7ページ社会的スキル2）	人と関わる遊び
	29列目	物に関わる複数の動きを（チェックリスト7ページ模倣6）	物に関わる複数のステップのある動きを

ページ	行	修正前	修正後
262	4列目	人形や動物を支えて簡単な動きをさせる (チェックリスト8ページ象徴遊び3)	人形や動物に小道具を使って1つの動作を行う
	14列目	3個以上の簡単な積み木で作った形を模倣する (CLは正しい)	3個以上の簡単な積み木で作った形をまねて作る
	18列目	容器を回して開ける、閉める (チェックリスト8ページ微細運動7)	容器を開け閉めする、回して閉めるタイプを含めて
	22列目	はさみで紙を切る (チェックリスト8ページ微細運動11)	紙にハサミを入れる
	28列目	段差から飛び降りる (チェックリスト8ページ粗大運動2)	段差から飛び降り、地面の障害物を飛び越える
	32列目	目的に向けて (チェックリスト8ページ粗大運動6)	標的に向けて
	38列目	容器まで運ぶ (チェックリスト8ページ身辺自立4)	カウンターまで運ぶ
263	4列目	ひとりで水を飲む (チェックリスト9ページ身辺自立9)	一人で飲み水を取ってくる
	29列目	尋ねられた質問に (チェックリスト9ページ受容コミュニケーション4)	好みを尋ねられた時に
	33列目	初期の大きさの概念 (チェックリスト9ページ受容コミュニケーション8)	初歩的な大きさの概念
264	4列目	絵や写真、選択、動いてみる (チェックリスト10ページ受容コミュニケーション13)	絵や写真で選択したり、動いてみる
	11列目	初期的な所有格形 (チェックリスト10ページ表出コミュニケーション5)	初歩的な所有格形
	16列目	(私、あなたの変化) (チェックリスト10ページ表出コミュニケーション10)	(私、あなたの変化形)
	37列目	ジョイントアテンションとして (チェックリスト10ページ表出コミュニケーション12)	ジョイントアテンションの誘いに
	38列目	他の人の線画の中から (チェックリスト10ページ表出コミュニケーション13)	他の人や、線画の中で
	39列目	他の線画の中の (チェックリスト10ページ表出コミュニケーション14)	他の人や、線画の中で
265	16列目	適切なときに (チェックリスト11ページ遊び4)	適切な場面で
	27列目	指を使ってはさみを (チェックリスト11ページ微細運動8)	はさみを
	29列目	切手貼る (チェックリスト11ページ微細運動10)	切って貼る
	36列目	歌や音楽の動きに合わせて (チェックリスト11ページ粗大運動5)	歌や音楽に合わせて
266	6列目	必要なときに (チェックリスト12ページ身辺自立5)	要求されたときに
	24列目	身体的関連性 (チェックリスト12ページ受容コミュニケーション1)	物理的な関係の
	32列目	同一性を示す (チェックリスト12ページ受容コミュニケーション9)	特定するための質問に「はい、いいえ」で答える

ページ	行	修正前	修正後
267	7列目	関係詞（チェックリスト13ページ受容コミュニケーション18）	関係性
	8列目	関係のない3つの部分で構成された（チェックリスト13ページ受容コミュニケーション19）	3つの関連性のない
	22列目	会話の中で「その○○」（チェックリスト13ページ表出コミュニケーション13）	「その○○」
268	4列目	他者と仲良くなろうとする（チェックリスト14ページ対人スキル3）	他の人を探し求める
	16列目	使う（チェックリスト14ページ認知5）	知っている
	17列目	使う（チェックリスト14ページ認知6）	知っている
	18列目	組み合わせの（チェックリスト14ページ認知7）	関連性の
	27列目	～に名前を付け、ふり遊びをする（チェックリスト14ページ遊び3）	見立てて使う小道具に名前をつける
	30列目	言葉で説明しながら（チェックリスト14ページ遊び6）	セリフの使用を含め
269	13列目	オーバーヘッドで（チェックリスト15ページ粗大運動2）	オーバーハンドで
	16列目	バットで打つ（チェックリスト15ページ粗大運動5）	Tボールをバットで打つ
	19列目	バランスビームや細い線の上、歩道のカーブ（チェックリスト15ページ粗大運動8）	平均台、枕木、縁石の上
	20列目	交通標識を用いた遊びをする（チェックリスト15ページ粗大運動9）	典型的な運動ゲームをする
	同上	止まれ、進め、駐車等（同上）	「レッドローバー」「フリーズタグ」
	30列目	クシャミやあくびは手で覆う（チェックリスト15ページ身辺自立9）	くしゃみや咳は手で覆う
	34列目	食事で、ナイフを使って切る（食器を正しく使って、食べ物を小さく切る）（身辺13）	ナイフを使ってバターやジャムなどを伸ばして塗る
270	8列目右	人の体の方へ	相手の体の方に
	9列目右	～を振り返って	～の方に頭を向けて
	11列目左	触る	手を伸ばす
	15列目右	言葉／ジェスチャーを伴った行動を示す	言葉／ジェスチャーの合図で動作を行う
	同上	大人の繰り返す指示や気を引くような動きのジェスチャー	大人がジェスチャーによりその動作を強調しながら指示を繰り返す
	18列目右	完全につかまなくても良い	手を伸ばして掴んだ場合はこれに含まない
	19列目右	欲しい物のために	欲しいものを要求するために
271	5列目右	大人の手か	大人の手のなか
	7列目左	1つを選ぶ	1つを選んで指差す
	7列目右	効き指か人差し指	人差し指（first fingerはindex fingerと同義語：重松注）
	8列目右	希望することを要求するために	欲しいものを要求するために
	同上	発声は伴っていること	発声は近い音であれば良い

ページ	行	修正前	修正後
	同上	ボールが欲しくて「アア！」行きたくて「オ オッ!」	ボールが欲しくて[おー]、行きたくて 「クー」など
	9列目右	効き指か人差し指	人差し指 (first fingerはindex fingerと同義 語：重松注)
	10列目右	効き指か人差し指	人差し指 (first fingerはindex fingerと同義 語：重松注)
	12列目右	あってもなくてもおきる	あってもなくても良い
	13列目右	つながったジャーゴン	他の人にはわからない音のつながった言葉
	15列目右	ネガティブな反応をしない	ネガティブな感情を示さない
272	3列目右	遊びの概略を続ける	遊びの構造を続ける
	4列目右	リズムや	歌や
	9列目右	行動を8個かそれ以上模倣する	行動を模倣し、それが8個以上ある。
	10列目右	10種類の身体活動を模倣する	動作を模倣し、それが10以上ある。
	14列目右	せめて	少なくとも
	15列目右	せめて	少なくとも
	16列目右	せめて	少なくとも
273	2列目右	子供はせめてひとりでマッチング／分類がで きなくてはならない。	子供はマッチング／分類を一人で完了でき なくてはならない。
	4列目右	行動がその物の役割に応じた行動をする。	行動は使うものの役割に応じたものである こと。
	5列目右	制限されないものや繰り返しのもの	限定的、反復的でないもの
	同上	そしてステップの動きが含まれている	そして1ステップの動きが含まれている
	同上	ブロックをブロックにあわせる	ブロックをブロック嵌めに入れる
	7列目左	ボールを入れる	ボールを投げる
274	8列目左	ハンマー遊びのおもちゃで	おもちゃのハンマーで
	12列目右	クラムジーでもよい	不器用でも良い
	16列目左	持ち直す	自分の身体を守る
	21列目右	たびたびもしくは頻繁な	頻繁な、もしくは重篤な癇癢
	22列目右	大人の協力のもとに	大人と関わっている間に
275	6列目右	こぼしてもかまわない	少しこぼしても構わない
	7列目右	食べるために手助けなしに～	食べるためにほとんど手助けなしに
	同上	食べるときにこぼしてもかまわない	食べる時に時折こぼしても構わない
	8列目右	食べるために手助けなしに～	食べるためにほとんど手助けなしに
	同上	食べるときにこぼしてもかまわない	食べる時に時折こぼしても構わない
	13列目右	例としては～終わりまで	例としては子供がシャツの袖から腕を抜く のを大人が手伝い、子供は自分でシャツを 頭から抜く、大人が靴ひもを解いて、子供 は自分の足を靴から抜く、大人がズボンの ファスナーを下ろして、子供がズボンを足 首まで下ろすなど。

ページ	行	修正前	修正後
	14列目右	例としては～終わりまで	例としては大人がシャツを丸め、子供がシャツに頭を通す、大人が靴をおさえて、子供が靴の中に足を入れる、子供がズボンに足を入れるのを手伝い、子供はズボンを引き上げるなど。
	16列目右	説明抜け	必要に応じてキューを与えても良いが、少なくとも5秒間水の下に手を置くことができる。保護者からの報告で十分。
	17列目右	説明抜け	必要に応じてキューを与えても良いが、タオルで両手を拭くことができる。保護者からの報告で十分。
	18列目右	説明抜け	必要に応じてキューを与えても良いが、体のほとんどの部分（顔、手、お腹、足など）に浴用タオルやタオルを使うことができる。保護者からの報告で十分。
	19列目右	説明抜け	少し嫌がるかもしれないが、攻撃性、自傷行為、大きな問題行動なしで大人がルーチンを行うことができる。
	20列目右	説明抜け	例としてブラシや櫛を持つ、または順番交代で髪をとかす。
	21列目右	説明抜け	歯ブラシを口の中に入れ、歯磨き粉の味を感じる。自分で歯を磨く必要はない。
	23列目右	説明抜け	必要に応じてうながしや身体的キュー（例、大人がティッシュを渡す、洗濯用のカゴを指差す）を与えるが、子供は服をカゴに入れることができる。
	24列目右	説明抜け	必要に応じてうながしや身体的キュー（例、大人がティッシュを渡す、ゴミ箱を指差す）を与えるが、子供はティッシュをゴミ箱に入れることができる。
276	2列目右	完全に止まって	完全に活動を停止して
	3列目左	10ステップの	10個の
	3列目右	棒でたたく	赤ちゃんを抱く、粘土をつつく、切る
	6列目右	指さしと	人差し指での指差しと
	8列目右	人やペットの名前が示されたときに	名前を示された人やペットがその場にいる場合
	同上	（または指さす）	（また指差すこともあり）
	9列目右	右の説明の後抜けあり	この課題には部屋の中を目で探す行為に必要なだけの長さの要求を覚えておき、そのものを床、テーブル、椅子、棚などから取ってくることが含まれる。
	10列目右	3つ以上のもので行動が～	3つ以上のつながりのある行動が～
	11列目右	写真や絵または線画を見て～	大きな写真や、絵または線画を見て～
	16列目左	20個かそれ以上の名詞～を使う	20個以上の名詞（ものや動物、人の名前）や名詞以外の単語（動作やその他の関係を示す単語（なくなった、～の上）を使う
277	3列目右	要求したり、もしくは主張する、拒否する、否定するを伝えるために	要求並びに抵抗、拒否、または否定を伝えるために

ページ	行	修正前	修正後
	5列目右	名前や、気がついた人の名前を言う。	名前を言ったり、その人の注意をひくために名前を言う。
	13列目左	ものを見せる	ものを差し出す
	16列目右	繰り返し活動をするー1時間ごとに数回アイコンタクト見られる	ここでは1時間に数回ルーチンにその行為をすることが含まれる。
	17列目左	大人と互いに見つめ合いながら	大人とものを交互に見ながら
	20列目左	感覚遊びを	対人遊びを
	20列目右	子供が、体を動かしたり、ジェスチャーやある種の特定のゲームの繰り返しの発声の間社会的な注視を自発的に初めてそのきっかけを作る。	子供は特定のゲームに特異的な体の動きやジェスチャーや声のパターンを通して対人注視を開始し、それを求める合図を送る。3つ以上のゲームで合図を出せば合格。
278	6列目右	ダンスをする	ダンスを模倣する
	8列目左	相手やゲームの名前を言ったり、相手の注意を引いたり、人と関わるゲームや活動を自分から始める	子供は人やゲームの名前を言って相手の注意を引き、人と関わるゲームや活動を自分から始める
	10列目右	それを相手に見せたり	相手を見て
	14列目右	順番が来たら渡すように求めたりして日常的に応じる。言葉があってもなくてもよい。	言葉を使うか否かにかかわらず順番交代を求める
	15列目右	子供は、特定の座席や大人の手助け、大人のリードや子供のレパトリーの中の言語指示に従うのではなく、少人数のグループの中に座る。	小グループの時に子供は決められた座席や大人の手助けなしに着席し、大人のリードに注意を向け、子供のレパトリーの中の言語指示に従う。
	18列目右	模倣使用とする	模倣しようとする
279	6列目右	動きに近い動き	動きに近い動き
	7列目左	複数の動き	複数のステップのある動き
	7列目右	形を分取り出す	形を取り出す
	8列目右	自分で模倣したり相手に求めたりする	自分に対して模倣したり、相手に対して行ったりする
	16列目右	昨日で	機能で
	23列目左	を支えて簡単な動きをさせる	に小道具を使った動作をする
280	2列目左	動きをする	動きを組み合わせる
	2列目右	2個の動きが含まれる	連続した2個の動きが含まれる
	3列目左	概要は	構造は
	3列目右	物を使ったおもちゃの中で	ものを使った遊びの中で
	6列目右	最後の文が抜けている	適切な遊びの中で繰り返しや常同的な行為があってもペナルティは与えない。
	7列目右	制限のある遊びでも、制限の無い遊びでもよい	遊び方の決まっているもの、決まっていなものを問わず。
	15列目左	様々な容器を回して開ける、しめる	様々な容器を閉める一回して閉める蓋を含めて。
	18列目右	子供は描く動作の	子供は筆記具を使って描く動作の
	19列目左	はさみで紙を切る	ハサミで紙に切り目を入れる
	19列目右	大人切り方を見せても良いが	大人が切り方を見せても良いが
281	2列目右	指示書	リマインダー

ページ	行	修正前	修正後
	6列目左	様々なかたちの	様々な体位の
	6列目右	関連した場所で	場所に関係なく
	同上	継続的であれば、正確さは重要ではない	重要なのは正確さではなく、一貫して行えるかどうかである
	7列目左	段差から飛び降りる	段差から飛び降り、地面の障害物を飛び越える
	7列目右	子供は、低い段から地面へ、なるべく地面から、ジャンプし空間野中で前へ移動する	子供は低い段から地面に飛び降りたり、地面からジャンプして前に進む
	8列目右	遊具の	低い遊具の
	9列目左	ペダルに足をおく	ペダルを漕ぐ
	9列目右	子供は自立的に乗るため三輪車のただし場所に座り	子供は乗るために三輪車の正しい位置に自立して座り、
	11列目左	目的に向けて	標的にに向けて
	14列目右	指示ごとに従って	指示に従って
	15列目右	注ぎ分けることができる	取り分けることができる。
	同上	クラムジーでもよい。	不器用でもよい。
	17列目左	容器まで運ぶ	カウンターまで運ぶ
282	2列目左	以前紹介されことのある	過去に複数回出されたことのある
	3列目右	家族制の	家庭での
	4列目左	ひとりで水を飲む	一人で飲み水を取ってくる
	6列目左	ボタンやファスナー	ファスナー
	6列目右	プロンプトはない	プロンプトではない
	7列目左	全部の服を完全に着る	服を着る段階の一部を自分で完了できる
	8列目左	フックに掛ける	脱いでフックに掛ける
	8列目右	防止を	帽子を
	11列目右	マニュアルやプロンプトが無くても	手を使った合図なしでも
	13列目右	けんかしたり	抗ったり
	同上	拭く手助けを受け入れる	拭く手助けをして活動に参加する。
	19列目右	記入がない	子供はひとつ以上の活動を開始し、完全なプロンプトの必要なしで様々なルーチンのステップに参加することにより就寝時のルーチンを意識していることを示す。
283	3列目右	バスケットを示したら	バスケットを提供したら
	4列目右	ついにして	対にして
	5列目右	道具を示して	道具を提供して
	7列目右	本をめくる間に大人とアイコンタクトを分かち合ったり	本と大人に交互に視線を向けたり
	8列目右	指導なしに	導きなしに
	10列目左	尋ねられた質問に	嗜好に関する質問に
	12列目右	盛んに実行されている	十分練習した
	同上	2つから3つのパートの	2つか3つのパートからなる

ページ	行	修正前	修正後
	13列目左	次など	隣など
	14列目左	初期の	初歩的な
	14列目右	物に手を伸ばす	ものを手渡す
	15列目右	物に手を伸ばす	ものを手渡す
284	2列目左	どうずつ	動物
	2列目右	物に手を伸ばす	ものを手渡す
	3列目右	物に手を伸ばす	ものを手渡す
	4列目右	物に手を伸ばす	ものを手渡す
	5列目左	絵や写真、選択、	絵や写真で選択したり
	5列目右	写真に手を伸ばす、動いてみる	写真を手渡す、動作で示す
	6列目右	指導なしに	導きなしに
	8列目左	コミュニケーションの開始のために	コミュニケーションの目的で
	12列目左	初期の	初歩的な
285	2列目左	の変化	の変化形
	2列目右	の変化	の変化形
	3列目右	子供は単語や簡単な言葉を使えばよい	子供は単語や簡単な文を使えば良い
	同上	ボールをとった	ボールを取った
	8列目右	一語文でよい	一語文でも良い
	10列目左	情報の質問	情報を求める質問
	12列目右	ある活動の行動	能動的な動作
	14列目右	2回以上の繰り返しのなかの何らかの活動を2回以上行う	2つ以上のルーチンで能動的な行動を2回以上行う
	15列目右	ペアレントレポートを承認してよい	保護者の報告でよい
	16列目左	相互交渉や	やりとりや
	16列目右	ペアレントレポートを承認してよい	保護者の報告でよい
	同上	2ラウンド行う	2ラウンド以上行う
	17列目右	ペアレントレポートを承認してよい	保護者の報告でよい
286	3列目右	10個以上の動きを	10個以上の新しい動きを
	4列目右	活動（発声、動いてみる、模倣する）を	能動的な行動（発声、動いてみる、模倣する）を含む
	6列目左	ジョイントアテンションとして人が指さしする方向を見たりコメントしたりして応じる	他者からのジョイントアテンションの誘いに、見たりコメントして応じる
	6列目右	大人の指示に	大人からのほたらきかけに
	7列目左	他の人の	他の人や
	7列目右	大人の指示に	大人からのほたらきかけに
	同上	確認する	特定する
	8列目右	確認する	特定する
	13列目右	c-a-tはどこ	猫はどこ
	16列目右	隠されたものを確認する	隠されたものを特定する

ページ	行	修正前	修正後
	16列目右	ペニー	硬貨
	同上	「もう一つのボールはどこ?」ときく	「もう一つのボールはどこ」と訊ねても良い
287	2列目右	3セットに分けて	3個ずつ
	8列目左	活動を結びつける	動作をつなぐ
	10列目左	適切なときに	適切な場面で
	18列目右	1/4	4分の3
	20列目右	紙にプラスチックの枠や下書きがあってもよい	プラスチックの枠や紙に線の下書きがあってもよい
288	2列目左	正しい持ち方で指を使って	正しい持ち方で
	2列目右	花見を持って	ハサミを持って
	3列目左	カーブ	曲線
	4列目左	切手貼る	切って貼る
	5列目右	3つ以上の分野のことは行う	3つ以上のことは行う
	同上	ドゥをのばして	粘土を伸ばして
	同上	ローラーならして	粘土を丸めて
	7列目右	調整して	体の動きを協調して
	9列目右	しがみついてもよい	つかまってもよい
	11列目左	歌や音楽の動きに合わせて粗大運動を模倣する	歌や音楽に合わせて動きのある粗大運動を模倣する
	14列目右	すくなくとも1回は1フィート(30cm程度)跳ぶ	すくなくとも1回は片足で跳ぶ
	17列目右	いらいらしても	ぐずっても
	18列目右	シンボルとなる本を見つけた	シンボルのある本を見つけ
	同上	説明の後に追加	家と学校で少なくとも80%の機会ですべて完了する。子供がこれらのどれも使っていないときにはこの項目はとばす。
	20列目左	必要なときに	要求されたら
289	8列目左	お風呂で協力的にしたり、お風呂のあとに自分で拭いたりする	協力的に入浴し、その後自分で身体を拭いたりする
	9列目右	上げたりおろしたりして	上下に動かし
	11列目右	器に入れる	器に入れて、ペットのところに持っていく
	13列目右	シンクに持って行く	取り出す
	15列目左	それに従って取ってくる	それに従って自分の持ち物を持ってくる
	15列目右	適切な場所に置く	適切な場所に片付ける
	17行目右	教える	見せる
	同上	確定する	特定する
	18行目右	「こわれた 壊れた青いクレヨン	折れた青いクレヨン
290	3列目右	説明の後半抜け	合格するために子供は3つ以上の比較の組み合わせを理解していなければならない

ページ	行	修正前	修正後
	5列目右	説明の文を入れ替える	ものが存在していない（さくらんぼの入っていないボウル）、特定の特徴がない（青い目をしていない子供）や動作をしていない（眠っていない人）ことを特定する正しいものを取り上げる、渡す、指差す、または見せる
	6列目右	絵やものを指さしたりものの部分を示す	物や絵の部分を示す
	8列目左	確認のための	特定するための
	11列目右	正しい絵／物、物を	正しい物や絵を
	14列目右	サイズや昨日；青い物、真売り物～	サイズや機能：青いもの。丸いもの
	16列目右	受動態の理解していることを	受動態を理解していることを
291	2列目左	時制の関係	時間の関係
	2列目右	子の3つの時制関係	これら3つの時間の関係
	8列目右	さらにたくさんのはえ	さらにたくさんのフライドポテト
	9列目右	説明の文を入れ替える	子供は自然な場面や構造化された場面の両方でこれらの前置詞すべてを使ってものの配置を説明したり、質問に答えたり、他の人に指示する。
	11列目左	連続したお喋りの中で子音を混ぜて使う	連続音声の中で子音の組み合わせを使う
	11列目右	正確に話せる：母語として話す人からはよいと判断されるお喋りの明瞭さ	正確に発音できる：母語として話す人からは良いと判断される聞き取りやすさ
	12列目右	要素で	要素を
	14列目右	継続的に	一貫して
	15列目左	所有代名詞	三人称の所有格
	16列目左	規則過去時制	過去形（日本語の文法に規則動詞がないため変えている）
	17列目左	会話の中で「その○○」	「その○○」
	19列目左	助動詞を伴った否定形を使う	動詞の否定形を使う（日本語では否定形を助動詞を使わないため変えている）
292	2列目右	着かれています	疲れている
	3列目左	どうですか？	どうしますか？
	8列目右	複文を使うが子供の側で2から3の交代したやりとりをしながら	決まり文句を使うが、子供の側で2から3回やりとりをしながら
	9列目右	4回の会話のやりとりをとおして	会話において4回のやりとりを通して
	10列目右	説明するでしょう	説明する
	15列目右	親しい大人	親しい人
	17行目右	同輩に対して1つ以上の発語やジェスチャーの遊びの試みをする	仲間に対して言葉やジェスチャーで1回以上遊びに誘う
	同上	同輩に手を振る	仲間に手を振る
	21行目右	大人や子供どうして	大人や子供と
	22行目左	同胞に	仲間に
	22行目右	同胞や	仲間や
293	2列目左	怖いと感じさせたのかを説明する	怖いのかわかる

ページ	行	修正前	修正後
	3列目左	要因を元にほかの人の感情を説明する	要因に基づいて他の人の感情を特定する
	3列目右	読む活動	本読み
	4列目右	戦略を維持する	方略を実施する
	7列目右	説明の文章を入れ替える	絵や物を一つの数に対して一度だけ触れたり指差して順番通り数える
	9列目左	10までの数を渡す	10までの量を言われて渡す
	11列目右	概念を話す	概念を言葉にする
	12列目右	合わせる	マッチングする
	15列目右	特定する	述べる
	19列目右	5個以上のフィギュアの動きを成し遂げる	フィギュアに5つ以上の動きをさせる
	20列目左	象徴的な小道具として代用品を何かに見立てて使う	なんでもないもの（プレースホルダー）を何かに見立てて使う
	21列目左	動きに名前をつけたり立てた小道具でふり遊びをする	動きや見立てた小道具に名前をつける
	22列目右	陽気につぐ	容器につぐ
	23列目右	導くためにパートナーに	パートナーに向けて
294	2列目左	言葉で説明しながら	言葉の台本の使用を含め
	2列目右	活動をとおして	動作を通して
	3列目右	文頭の「様々な動きと台詞をつかって」	この部分削除
	5列目左	ほかの人にリードに従う	他の人のリードに従う
	5列目右	言葉や言葉意義の指示に	言語、非言語指示に
	7列目右	塗り絵の形の	塗り絵の本の絵の
	8列目右	模倣する	真似て描く
	10列目左	自発的に様々な文字と数字と形を描く	様々な文字と数字と形を手本を見ながら真似て描く
	10列目右	いくつかの数字を認模倣するし描くこともできる	幾つかの数字を真似て描くことができる
	12列目左	はっきり書く	なぞる
	13列目右	線の内側を大体塗る	大体線の内側を塗る
	14列目左	書くための道具	お絵描き道具
	14列目右	純に従って	順に従って
	16列目右	線を描き	線画を真似て描き
	18列目右	(3インチ(約9センチ)以上の角と縁を切る	(3インチ(約9センチ)以上の角と縁を切る
	20列目右	子供が十分にそれぞれの工程をできるなら	それぞれの工程が子供が完全にできるスキルを含んでいる限り
	21列目左	文章を入れ替える	絵筆、スタンプ、マーカー、鉛筆、消しゴムを使って図画を完成する
	21列目右	説明の後にさらに分追加	子供はそれぞれの道具を用いて大人の描いたモデルを真似ても良い。
	22列目左	筆記具	お絵描き道具

ページ	行	修正前	修正後
295	4列目左	ブランかと	ブランコとか
	6列目左	テニスボール	Tボール
	7列目左	巧みな動き	ハンドルを操作し
	10列目左	交通標識を用いた遊び	典型的な動きのあるゲーム
	同上	止まれ、進め、駐車場など	レッドローパー、フリーズタグなど
	10列目右	交通標識を用いた5個以上の遊びをする	この種のゲームを5つ以上する
	12列目右	日宇町に大路手おまるを使う（大人がトイレまで連れて行ってよい）。自分でズボン引っ張る／下着を上げておろす～	必要に応じて子供用の便器を使い（トイレに行くよう大人が合図を与えても良い）、ズボン／下着を上げ下ろしし～
	17列目右	シャンぶを着けて	シャンプ―をつけて
	20列目右	くしゃみをしたときに手や腕で鼻をおおう	くしゃみをする時に手や腕で口を覆う
	21列目左	一緒に出かけたときに	大人と一緒にいる時も
296	3列目右	用具正しい位置に自立的におおむね丁寧に置く	フォークやスプーンを正しい位置に自立的におおむねきちんと置く
	4列目左	食事で、ナイフを使って切る（注：食器を正しく使って、食べ物を小さくできる）	ナイフを使って塗る
	6列目右	（約1-2リットル）用の容器から丁寧に	（約0.5-1リットル）のピッチャーから綺麗に
	7列目左	コンテナや食器洗いに	カウンターや食洗機に
	7列目右	いつものように	いつも
	8列目右	シリアルと牛乳を用意する	シリアルに牛乳をかける
	9列目右	子供は多様な料理、例えばクッキーやパンケーキ、スクランブルエッグ作りなどの料理の様々な工程に参加する	子供はクッキー、パンケーキ、スクランブルエッグ作りなど複数の工程からなる調理活動の複数の工程に参加する
付録B			
297	12	スケールで指示されていること	スケールで支持されていること
	21	機能、詳細などを	機能、発展などを
298	1-2	開始と、活動の構造が設定される段階、	活動の構造が設定される段階である開始と
	9	その切り替えの間から	その活動の後の切り替えから
	17	その文章の終わりに追加	スローモーションにしたり、2回以上の再生はしないこと。
	22	否定的な覚醒	好ましくない覚醒
299	18	3以下の点数が	3未満の点数が
	33	十分なプロンプトを与えていない、	完全なプロンプトを与え続けている、
300	21	指示の明瞭さ	指導の明確さ
301	22	プロンプトフェイディング	プロンプトとフェイディング
302	2	エラーを最小限にするために指導を	エラーを最小限にするため、一般には2回連続して失敗した場合、指導を
	11	問題は子供の学習が	問題により子供の学習が
	24-25	問題行動ではない。	問題に関するものではない。
	29	静的な学習状態	最適な学習状態
303	25	受動性などは採点しない。	受動性などは採点の対象としない。

ページ	行	修正前	修正後
306	23	しようとしている。しかし、上記の	しようとしている。大人は子供に選択の機会を2回以上提供しているが、明確な選択の機会を見落としている。しかし、上記の
307	18	大人の感受性と子供のコミュニケーション意図のあるキューに対する反応性	子供のコミュニケーション意図のあるキューに対する大人の感受性と反応性
	22	「耳を傾けている」ように見える	「耳を傾けてもらっている」と感じているように見える
308	11	方向性の内コミュニケーション	方向性のないコミュニケーション
	23	子供に代わって	子供に対して
310	22-23	手をかけた作業の	発展の
	27	応答に手をかけること	応答を発展させること
	30	手をかけるのを	発展の
	31-32	活動に手をかけ持続しより	活動を発展維持したり、より多くの
311	3-4	活動に手をかける能力	活動を発展させる能力
	7	創造的に	想像力豊かに
	28	子供自らが開始を探ることなく	子供自らの開始を探ることなく
313	D	子供の情緒と各制度を	子供の情緒と覚醒度を
314	H	大人ニヨル	大人による
	K	大人の言語の適切さ	子供のレベルに合わせた大人の言語の適切さ